

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (13) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 3 月 29 日 週間祈りカード		
△産業宣教 金土日時代をやぐら 9 237 - 5000 の一人招待 (マタ 28:16-20)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 9 レムナントと TCK の準備 (ルカ 23:28)	△核心/RT Day 4 月学院福音化
△私たちは今、伝道の新しい時代を開いている。私たちは出エジプトしてカナン入ることをよく見るべきだ。24 することができる指導者 12 人が準備されて、24 することができる場所を確認して入った。そのときから、神様がヨルダンを分けて、エリコを崩して、月と太陽を止めて、アナク山地を占領するようにした。25 だ。入って永遠の福音を伝えた。それゆえ、牧師は 12 か所を定めなさい。鍵は 24 だ。私が 24 できなければ 24 する人を送って、送る人がいなければ 24 する人を立てなさい。最後に祈り 24 を教えてあげなさい。すると本人も生かされる。 □序論 1. みことば-信じにくい部分多い。ここでだまされる。 2. 成就-7・7・7 目に見えないのに正確に成就する。 3. 7・7・7 祈り-力、幸せ、喜び(24、25、永遠) □本論 1. 創 12:1-3 アブラハムに初めからこの話をされた。 1) 契約 わたしがあなたに示す地に行きなさい。 2) 根源 あなたが祝福の根源になる 3) 代表 あなたによって 4) 記念碑 あなたの子孫によって 5) 不可抗力 あなたに立ちはだかる者はない 2. 成就 神様は一度も福音を、みことばを止めたことはない。 1) 奴隷として行くようになる。 2) 捕虜として。聞き取れないから 3) 属国 強大国に連れて行って属国にさせる。 4) 流浪の民 全世界に散らしてしまう。 3. マタ 28:16-20 1) あらゆる国の人々に行きなさい。天と地のすべての権威を持ってあなたとともにいる。 2) 弟子としなさい。24 する人を立てなさい。 3) わたしがあなたといつもとにもいます。これが 25、永遠だ。 4. マコ 16:15-20 万民に行きなさい。 1) 御座に着かれた主があなたとともに 2) 癒やし 病んでいる者に手を置けば癒やされる。 3) 悪霊 わたしの名によって悪霊を追い出しなさい。 5. 使 1:1-8 地の果てまで行きなさい。 1) 聖霊の満たし 聖霊のバプテスマを受けるだろう 2) 力を受けるようになる。これが 300%だ。 3) 証人になる。 □結論 祈り 24 レムナントは朝、昼、夜に少しだけでも 24 になる 答え 25 が与えられる。 世界を生かすことが起こる。永遠だ。 △牧師、重職者は、無条件に「一つの地域を私が生かす」牧師は「12 地域を生かす」長老は「70 地域を生かす」心に込めなさい。	□序論 <u>絵</u>- RT7 人 レムナントは未来に対する確実な絵を描きなさい。間違って描いても神様が修正してください。 1. 流れ-Trinity -目に見えない流れ 3 つがある。神様は、今もみことばを成就、祈りの答え、救いの働きを成し遂げておられる。すると、私は何を準備して、どこにいるのかを確認できれば良い。 2. やぐら、旅程、道しるべ-先に祈りのやぐらが作られれば、旅程を行うようになるが、このとき、一生の答えが与えられる。それが道しるべだ。 3. 霊的サミット-成功する前に霊的サミットに、先になるのだ。 □本論 1. 300% 1) 祈り 300% 2) 学業 300% 3) 未来 300%がみな出てくる。レムナントが受ける祝福だ。 2. 未来 300% 1) 使 17:1 (キリスト) -会堂で。ここでは、キリストという単語を正確に分からなければならぬ。 2) 使 18:4 (金土日) -金土日時代、ここで見つけ出すことだ。 3) 使 19:8 (三つの庭) -レムナントは三つの庭の体験を味わえば全部未来になるのだ。 3. 方向 1) 一か所 2) 一つの地域 3) 一つの国を生かすようになる。 □結論 <u>器、姿勢、TIME</u> 答えが来るので「器」を準備して、これからサミットなるから「姿勢」を準備して、この「TIME」を味わいなさい。それゆえ、レムナントは朝、夜、昼に少しだけ 5 分、10 分だけ祈っても良い。すると答えは後に来る。神様がレムナントとともにおられる。レムナントは未来の心配を絶対してはならない。	□序論 237、癒やし、サミット(三つの庭、金土日時代)-この祝福を受けなければならない。 <u>7 やぐら</u>-みことば・祈り・救いで働かれる三位一体の神様が、私のやぐら、御座の力、世界福音化する力、私の過去・現在・未来に勝つことができるやぐら、5 力、空中の権威を持つ支配者に勝つ力、CVDIP 未来を知らせる奥義、三つの庭が私に臨むように祈り 旅程に行くこと-三位一体の神様が答えられる<u>御座の道</u>を御座の<u>土台</u> 10、御座の<u>奥義</u> 10 を持って行くこと、御座の 5 つの<u>確信</u>が私の道 □本論 1. 御座の流れで流れを変える-三つの庭(教会の門)、金土日時代(次世代)、黙想時代(癒やし) 考えを変える福音回復 300%、サミットルーティンを持つ祈り回復 300%、未来を心配しなくても良い未来回復 300%のために 1) みことば、祈り、伝道の流れの中に私がどこにいるのか確認 2) 9 つの流れを持って変えなさい-家庭(病氣・貧困・無能)、教会(伝道 x)、現場(伝道者 x、多くの病人) 3) 教会史の流れをレムナントが変えるのだ。 2. 一生の答えを見つけ出さなさい-牧師(12 地域に伝道地教会)、重職者(主のしもべが世界福音化するようにサポートすること)、レムナント(回復) 1) 祈りの奥義を持ってば 2) 一生の答えが与えられる。 3) その中で今日の答え 3. 今日、私が動くすべては御座のキャンプ 1) 問題-答えを見つけるキャンプ 2) 困難と葛藤-更新 3) 危機-機会 4. 300%準備 △伝道者-学生のときに伝道準備、毎日現場把握、どのように伝道運動するのか未来に対する答え 1) 私-タラント発見 2) 専門性、現場性、未来性準備 3) みことばで答えが出てくる時まで編集、祈りに答えられる時まで設計、現場が見える時までデザイン 道しるべを作ること-カルバリの丘<u>ヨハ 19:30</u>、オリーブ山<u>使 1:3</u>、マルコの屋上の部屋<u>使 2:1</u>、特徴がみな 24 することができることを建てた。すると 25 が出てくる。散らされた者たち<u>使 11:19</u> (命をかけた 24 の人々)、完全な聖霊の導き<u>使 13:1-4</u>、マケドニア<u>使 16:6-10</u>、ローマ<u>使 19:21</u> □結論 1. 24・25・永遠システム-どこでも勝って、どんな問題がきても大丈夫 2. WIOS(神様が私、私たちの、すべてのことの中にもとおられるというシステム) -働き、癒やし 3. OURS(ただ、唯一性、再創造のシステム)

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (13) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 3 月 30 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 13 週 ピリポ・カイサリア-癒やすカ-律法主義とキリスト(マタ 16:14)	△聖日 1 部 最初から与えられた幕屋の庭(出 27:9-19)	△聖日 2 部/237 宣教会献身礼拝 絶えることの無いとしび (出 27:20-21)
□序論 1. 殺すこと-普通殺すこと、殺す話をよくする。私たちは生かす力を伝達すべき。 2. 人のことば-私たちは人の話をよくするが、みことばの力を持ってこそ生かされる。 3. 恨み、批判-ややもすると私たちは恨み、批判することになるが、祈りの力で生かすことができる。 4. 病むように-多くの人の周囲環境を見れば、私たちを病気にさせるが、癒やす力を持って助けなければならない。 <u>律法主義</u>-ユダヤ人は律法主義をしたので治すことはできない。律法は神様のみことばで、どんな道を行ってこそ正しく行くかを教えることだ。私たちが律法で救われることができないから、神様が救いを与えてくださった。 □本論 1. 律法主義を継続するのでわざわいが押し寄せる。 1) ユダヤ人ほど法を問い詰めるところはない。 2) ムスリム 3) カトリック-福音より律法を続けて強調する。 <u>お金、行い</u>-さらにお金で救われると言う。ユダヤ人とカトリックの共通点は、行いで救われると言う。創 3 章に陥った私たちは信仰で救われるので、行いで救われることはできない。家系の偶像崇拜によってわざわいが来ているが、行いで救われることはできない。 2. 瞬時 必要な時もある。私たちが言い争いや事故が起こるとき、律法で問い詰める。 3. 福音-神様が私たちに与えられた福音は、人を永遠に癒やす。 1) 237 か国の使命者に一番最初にすべきことが霊的癒やしだ。 2) 5000 種族は霊肉ともに病になっている。 3) TCK、CCK、NCK -葛藤の中にあるレムナントである TCK、まったく減びる国家で暮らすレムナントである CCK、1 か月に 1 ドルで暮らす国のレムナントである NCK は全部癒やし対象だ。福音でなければ癒やしは不可能だ。 □結論 1. 7・7・7 祈り-キリストが与えられたこれを持って祈りなさい。 2. 5 カ-これを祈るとき、5 カが生じる。 3. 使 2:1-4 五旬節の日になって。マルコの屋上の部屋働きが起こったのだ。 使 13:1-4 伝道する前に先に祈って完全に聖霊の働きが起こる。 使 19:1-7 ティラノで伝道する前に祈って、霊的な大きな体験をするようになる。 Ⅱコリ 12:1-10 からだの中にいるのか外にいるのか分からないほど切実に祈った。	□序論 1. 外に出て行く前に子どもたちに教える三つのこと 1) 霊的サミット 2) 祈りの力 3) 世界化の目 2. 産業・学業に始めること、教会が門を開める理由-三つの庭 1) ネフィリム団体に三つの庭を奪われた 2) 深刻化する霊的問題 3) 苦しみにあう次世代-祈りができる力、癒やすことができる力、世界へ出て行くことができる力だけ抜いてしまった 3. 三つの庭 1) 異邦人の庭-目が暗くなって四方から攻撃される韓国に宣教師が入ってきた。 2) 子どもたちの庭-金土日時代を開いて三つの力を育てて刻印(使 1:3 イエス様の 40 日集中) 3) 祈りの庭-どこでも祈って勝つことができる力なしで出て行く次世代、全世界が精神病 □本論 受けるべき答え 1. 三つの庭はアブラハムに与えられた約束-信じるとき働きが始まる 1) アブラハム (1) 約束-祝福の根源(祈りの庭)、あなたの子孫によって(子どもたちの庭)、すべての国々が祝福(異邦人の庭) (2) わかったその日から、祭壇を築き始め(創 13:18) (3) 与えられた祝福-イサクの代わりに雄羊、あなたの子孫によって、世界中の国々の民が祝福(創 22:1-18 三つの庭) 2) イサク-100 倍の祝福、泉の根源、レボポテの祝福 3) ヤコブ-イスラエル(神様と人と競って勝った) 4) ヨセフ-世界福音化 2. 幕屋の庭を語られた理由-世界を生かしなさいと 1) モーセ-すべての子どもが殺される時刻表に王宮(三つの庭の現場)へ (1) 血のいけにえ-10 の奇跡、紅海(困難は暗闇を震えおののかせる証拠) (2) 三つの祭り (3) 幕屋と三つの庭 2) ダビデ-三つの庭を作る人なら、神様があらかじめ祝福される。 (1) 羊飼い-王になる信仰と実力を備えた (2) 三つの庭の契約をわかったその日以来、主の霊が激しく下った (3) 王として、主の御名を持ってゴリヤテと戦い (4) 1 千か所の祈り場、三つの庭がある神殿準備 3) すべてことに三つの庭-産業、伝道、教会も三つの庭 3. 三つの庭を逃した神殿 1) 商売をする所が変わった三つの庭-イエス様が怒ってのろわれた 2) イエス様の預言のとおり 70 年に崩れて、今まで回復しない神殿 3) 子どもたちの庭、異邦人の庭、癒やしの庭-私の職業と教会にみな作りなさい。 □結論 聖書にあるとおり三つの庭を作りなさい。	絶えることの無いとしびを光として放つことが宣教だ。 <u>荒野</u>-いつ困難が近づいてくるもわからない<u>危険</u>、いつ敵軍が攻め込むかもわからない<u>絶望</u>が来る状況 □序論 1. ヨハ 1:11-12 キリストが光として来られた。受け入れるとき、この光が放たれる。 2. マタ 5:13-16 あなたは光だ。身分を信じるとき、働きが起こる。 3. 1 ペテ 2:9 この光を宣べ伝えるために呼んだ。伝えるとき、祈るときに働き △光によって暗闇を癒やすことができる。 □本論 どんな光なのか 1. 237 に向けた光 1) 創 1:3 創造の光 2) イザ 60:1-2 栄光の光、起きて輝け。主の栄光があなたの上に臨んでいるからだ。 3) 雅 4:1-5 1 千のやぐらを建てて光を照らしたのだ。 4) エゼ 37:1-11 みことば、いのちの息を吹き込んだら、骨が生き返って、軍隊になった。完全に絶望の中にいる私たちを神様は軍隊として起こした。 5) ヨハ 1:1-14 みことばが神様、キリストが神様で光、受け入れる者は神の子どもになる権威を受ける。みことばが人となった。 2. 救いの光 1) 幕屋の中に-24 ともしびをつけなさい。 2) 幕屋の外に-夜に明かりをつけなさい。 3) 三つの庭-暗い道を行く人がこの光を見て生かされるように △暗闇の中にいたあとで光を見た人々は違う。伝道しないでと言ってもする。いのちをかけて宣教地に行く。暗闇が何かを分かると、どれくらい感謝するか分からない。 3. 癒やしの光 1) 暗闇文化-強大国に広がっている。後進国は完全に暗闇の中に陥っている。 2) 暗闇病気癒やし(ネフィリム) -霊的に苦しめられる人々は、この光でなければならない。 3) 暗闇経済癒やし(献金) -献金は光の経済だ。献金するとき、本当に祈らなければならない。光の経済があつてこそ暗闇経済に勝つ。 △この契約を知って全世界に光を放つことが宣教だ。この福音が入ってローマの暗闇を崩して、それがヨーロッパ全体に広がった。これが宣教で宣教献金だ。 □結論 1. 始まり-福音 2. 結果-伝道(世界福音化) 3. 今日-過程(答えも、困難も世界福音化して行く過程だ) <u>力の祈り</u>-一週間ものすごい力を味わう祈りを始めなさい。聖霊に満たされれば力を受ける。地の果てまで証人になるほどの力が与えられる。 △日曜に深く契約を握ってゆっくり呼吸して生かす祈りをしなさい。月曜日から答えが与えられる。味わう祈りをしなさい。みことばが成就する答えが見える。日が経つにつれ健康で力がなければならない。